【様式1】

課名	税務課

■事業概要

事務事業名	特別収納対策室事業費		事業コード	20204	施策コード	7235	
施策名	基本目標名	計画の推進		新規継続	1新規	2継続	2
	施策名(節)	行財政改革		単独補助	1町単独	2補助	1
	施策内訳	行財政改革の推進		政策一般	1政策事業	2一般	2
実施根拠	1法令 2条例 3規則 4要綱 5計画		1	自治事務	1自治事務	2法定受託	1
	6その他 → その他名称(						
事業概要	対象者	全納税義務者					
	目的	自主財源の安定確保及び納税秩序の維持。					
	内容	町税等滞納整理嘱託員報酬(201,400円×1人×14.1月)。嘱託員費用弁償(82,140円×1人×2回)。 徴収対策推進員報償費(20,000円×2日×12ヶ月)。 口座振替依頼書、領収書原符の印刷製本費。					
	成果イメージ	効率的な徴収体制の構築。 収納率の向上。					

■事業の実績

		年度	21	22	23	24	25	合計
予算(千円)	財源内訳	国支出金						0
		県支出金						0
		地方債						0
		その他特定						0
		一般財源	754	754	754	5,919	3,771	11,952
	総事業費		754	754	754	5,919	3,771	11,952
職員数(人)			4	4	4.5	6.5	7.5	
決算(千円)			580	624	589	722		2,515

■事務事業評価

指標		基準・H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標・H27
	指標1:名称	町税・収納率						
	データ	82.1	83.5	83.4	83.9	84.0	84.5	84.5
	算出根拠・計算式	収入額/調定額(一般会計)						
	指標2:名称	町税・収納率						
	データ	68.7	66.6	66.7	68.0	68.2	68.4	68.4
	算出根拠・計算式	収入額/調定額(国保会計)						

評価				
・各項目ごとに該当する評価を選び番号を右欄に記入し、さらにその右側の説明欄に説明を記入する。	達成度 ★継続事業のみ	1 目標を上回る 2 目標をほぼ達成 3 目標を下回る 4 目標を大幅に下回る	(番号) 2	(説明) 徴収対策推進員から滞納整理対策及び滞納整理方針を受け、徴収率の向上に努めている。
	住民満足度 ★継続事業のみ	1 満足 2 概ね満足 3 やや不満 4 不満	(番号) 3	(説明) 「雇用の不安定により収入が減った。」「納税意識の低下。」などが原因となり、収納率の低下に影響している。
	住民協働度 ★継続事業のみ	1 十分 2 概ね十分 3 やや不十分 4 不十分	(番号) 2	(説明) 法令等、税の仕組みを周知することにより、より町民に納税の理解が得られると考える。
	効率性 ・費用対効果 ・経済性 ・手法	1 十分 2 概ね十分 3 やや不十分 4 不十分	(番号) 2	(説明) 効率的効果的な事務執行に関し、適切な指導助言をいただくことにより、収納率向上に効果を上げている。
	必要性 ・住民ニーズ ・環境配慮	1 適切 2 概ね適切 3 やや不適切 4 不適切	(番号) 2	(説明) 税が、町の収入の柱であることから、収納率の向上に努めていくことが必要である。
	公平性	1 適切 2 概ね適切 3 やや不適切 4 不適切	(番号) 1	(説明) 法令遵守のために必要である。
	総合評価 ・今後の方向	1 拡大して実施 2 現状維持 3 事業規模・内容の見直し 4 事業の抜本的見直し 5 廃止または休止	(番号) 2	(説明) 税の公平性の観点から、さらなる滞納整理を進める。
見直し等 ・対象 ・手段・方法 ・ねらい ・効率化 ・経費	平成24年度、特別収納対策室を設置し、徴収体制の強化を図っている。 平成25年度、納税担当に新たに職員1名と特別収納対策室に町税等滞納整理嘱託員1名が配置され、徴収体制が充実したことや、納税者の納付機会の拡大と期限内納付額の増大を図るために町税のコンビニ収納を開始した。			

■二次評価

	総合評価 ・今後の方向	1拡大して実施 2現状維持 3事業規模・内容の見直し 4事業の抜本的見直し 5廃止または休止	(番号) 2	(説明) 町の収入の柱である税の徴収率向上、公平性の保持のため、継続して推進員や特別収納対策室の活動を支援する必要がある。